

	1学期の成果	2学期以降への課題	具体的な改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国語辞典や漢字辞典の使い方を身に付けることができた。</li> <li>○物語文を読み、登場人物の心情を読み取り、自分の考えを表現することができた。</li> <li>○必要な情報を記録したり質問したりしながら聞き、話の中心をとらえ、自分の考えをもつことができた。</li> <li>○段落相互の関係を捉え、筆者の考えを読み取ることができた。</li> <li>○比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方を理解し、使うことができた。</li> <li>○漢字の学習に粘り強く取り組むことができた。</li> <li>○読書週間や朝読書などを通して、本に親しむことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国語の学習以外でも国語辞典や漢字辞典を進んで活用することができるようにする。</li> <li>○登場人物の心情を読み取るときに、文章から根拠を見付け出すことができるようにする。</li> <li>○自分が聞きたいことを端的に相手に伝え、聞き取ったことや必要な情報を自分の言葉で書くことができるようにする。</li> <li>○筆者の考え等を読み取るだけでなく、自分の考えを相手に伝えることができるようにする。</li> <li>○必要なことを記録したり、質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えるようにする。</li> <li>○家庭学習や授業の中で、漢字練習に継続して取り組み、定着できるようにする。</li> <li>○みどり小読書ノートを活用し、さらに読書の幅を広げることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国語以外の授業でも辞典を使う機会を設け、授業中、机上に出しておくようにする。普段から辞典を引く活動の場を取り入れる。</li> <li>○大事な言葉やキーセンテンスをとらえながら、読み取ることができるようにする。会話や行動に登場人物の心情が表れている部分に線を引くなど着目することを意識させて指導する。友達の見解を参考にしながら話し合いの活動を導入する。</li> <li>○メモの取り方を確認し、普段から短い言葉でまとめられるように指導する。</li> <li>○考えを書いたり、話したりするフォーマット(文型、話型)を提示し、自分で推敲しながら考えを書いたり発表したりする時間を設ける。</li> <li>○何についての話を捉えようとして、メモに取るべきことは何かを考えさせながら聞くよう指導する。</li> <li>○毎日、3問ずつの小テストを行う。また自分で学習が進められる教材を用意し、着実に漢字を身に付けさせる。</li> <li>○みどり小読書ノートに載っている本を計画的に紹介する。読書の目標を立てるなどして、計画的に読書に取り組む。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東京都の位置や様子について、教科書や地図帳から、必要な情報を見付け、発表したりまとめることができた。</li> <li>○水道の学習やごみの処理と利用について、映像や専門の方の話を聞くことで、自分たちの生活はたくさんの方の工夫や努力で支えられていることを理解することができた。</li> <li>○学習したことや、自分の考えをワークシートにまとめることができた。</li> <li>○学習したことから、資源を守る意識が高まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グラフや写真、表の資料など、正確に読み取ることができるようにする。</li> <li>○地域の関係機関、文化財や年中行事等は地域の人の願いが込められていたり、協力をしていたりすることを理解できるようにする。</li> <li>○見学したことや調べたことを、内容に関する資料を活用しながら、自分の考えを分かりやすく表現できるようにする。(まとめること、発表すること)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料の読み取り方を丁寧に教え、読み取る練習を重ねていく。ペアや小グループで読み取ったことを共有することで、読み取りを確実にする。</li> <li>○学習の中で、社会事象が自分たちの生活に深くかかわっていることに気付かせ、問題意識をもたせる。また、学習したことを生活の中で生かせるように指導計画を見直す。</li> <li>○見学したり、調べたりしたことをクラス全体で共有する時間を確保し、内容に即した資料を活用してまとめさせる。</li> <li>○学習したこと、資料から読み取ったこと、自分で考えたことを分けて発言したり、文章でまとめさせたりする。また、学習課題を自らもつようにし、それを解決するためにICT機器を活用するように指導する。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○億、兆の単位を知り、十進位取りの理解を深めることができた。</li> <li>○三角定規や分度器の使い方を理解し、課題に取り組むことができた。</li> <li>○1けたでわるわり算の筆算のしかたを理解し、課題に進んで取り組むことができた。</li> <li>○少人数学習、習熟度別学習を行うことで、一人一人が自分に合ったペースで課題に取り組むことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題場面を正しくとらえられるようにする。日常生活で学習したことが生かせるようにする。</li> <li>○新しい問題に対して、既習内容・事項を生かして解決できるようにする。</li> <li>○問題に対していつも自分の考えをもち、進んで発言できるようにする。</li> <li>○基本的な四則計算が習熟できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習したことを日常の問題としてとらえるように指導する。</li> <li>○既習事項の確認を丁寧にを行い、学んだことをもとに考えていけるようにノート指導をする。また、問題場面を絵やテープ図を使ったり、問題文に下線を引いたりさせ、課題を把握させる。</li> <li>○ペアやグループ、全体に自分の考えを伝えることで、相手の考えを知ったり、自分の考えを整理したりすることができるようにさせる。</li> <li>○授業や家庭学習で繰り返し、計算問題に取り組ませる。また、ICT機器を活用して、習熟問題や応用問題にも取り組ませるようにする。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○動植物の観察や、空気、電流の働きについての実験を通して、基本的な技能を身に付けることができた。</li> <li>○空気や水の性質について、予想や仮説を考えて、表現することができた。</li> <li>○空気、電流の働きについて、一人に1つずつ器具を用意したことで、主体的に実験に取り組むことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○対象物を正しく観察し、カードに記録することができるようにする。</li> <li>○実験の結果と考察を区別して記録できるようにする。</li> <li>○実験をする前に、既習事項や生活経験を生かして根拠のある予想を立てられるようにする。</li> <li>○観察器具の使い方や実験準備の方法について、理解することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観察する視点を示すことで、具体的なかき方を指導する。</li> <li>○実験結果の記録の仕方と、めあてをもとにした考察の仕方を指導する。</li> <li>○一人で考えたり、グループで話し合ったり、既習事項を振り返ったりするなど、予想を立てる時間を確保する。</li> <li>○観察や実験の手順を説明する際には、実物や絵など、視覚的な情報と合わせて指導する。児童が扱いやすい実験器具を用意する。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旋律の特徴、重なりや繰り返し、問いかけと応答などを感じ取り、フレーズのまともに気を付けて表現を工夫することができた。</li> <li>○旋律と副次的な旋律を、それぞれのパートの役割を意識しながら演奏したり、リズムにのってクラッピングをしたりすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○思いや意図をもち、身に付けた知識や技能を活用し、友達と協力して表現を工夫することができるようにする。</li> <li>○リコーダーの音色を生かし、曲想にふさわしい表現ができるようにする。</li> <li>○音楽文化や音楽表現の多様さを認められるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○楽曲のよさなどを見出す場を設定し、曲想と音楽を形づくっている要素の関りを理解して表現する。</li> <li>○自身のリコーダーの音色を聴き、サンギンやタンギン、フレーズを意識し、プレスを生かした表現のために必要な技能を身に付ける。</li> <li>○楽譜や視覚情報的確に用いて、曲想と音楽を形づくっている要素との関りを理解しながら、鑑賞し、そのよさに気付いて聴くことができるようにする。</li> </ul>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水彩絵の具やパステルコンテ、身の回りの素材を使って、楽しく作品をつくることができた。色の組み合わせや重なりを工夫して表すことができた。</li> <li>○テーマから発想して、自分のイメージした世界を工夫して作る事ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な表現方法を知り、自分なりに構想して、作品を仕上げることができるようにする。</li> <li>○道具を正しく安全に取り扱いながら、つくりたいもののイメージを広げ、発想豊かに表現できるようにする。</li> <li>○美術作品を鑑賞し、友達と意見を交換する。お互いの意見のよさを見付けられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎時間の指導や個別指導を充実させ、一人一人が意欲や自覚をもって活動できるよう学習環境を整える。</li> <li>○いろいろな技法を経験することによって、表現に幅をもたせるようにする。友達の作品を見て、表現のよさを見付けたり、グループで話し合ったりする。</li> <li>○美術鑑賞教室やICT機器を活用して、美術作品から受ける印象を大切に、自分なりの感想を持たせる。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○走る運動では、調子よく運動する楽しさに触れ、その動きを身に付けることができた。特にリレーの学習では、チームで工夫しながら学習することができた。</li> <li>○鉄棒運動で、支持系の基本的な技や発展技の練習をすることができた。</li> <li>○短なわの前跳びや後ろ跳びを通して、友達の行い方の真似をしたり、修正したりしながら、自己に適した動き方で取り組むことができた。</li> <li>○運動に進んで取り組んだり、きまりを守って運動することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○それぞれの運動の特性に応じた技能を身に付けることができるようにする。</li> <li>○勝敗に対して、正しい態度を身に付けることができるようにする。</li> <li>○用具の準備や片付けなど、協力して安全に行えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の能力に適した課題をもって運動に取り組めるように、資料や学習カードの工夫をする。また児童に友達の動きを見るとき視点を与えることで、友達同士での学び合いを活性化させる。</li> <li>○グループ学習を取り入れることで、規則を守ることの大切さや、協力して楽しく運動できるよさを経験させる。</li> <li>○安全や協力などの具体的な項目を入れた学習カードを準備する。</li> </ul>
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本語と外国語の音声やリズムの違いに気付き、様々な英語表現に慣れ親しむことができた。</li> <li>○相手に配慮しながら、これまでに慣れ親しんだ表現を使って、友達と尋ねたり答えたりすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○短いまとまりのある話を聞いて、おおよその内容をつかむ経験を増やすようにする。</li> <li>○友達同士のやり取りがより深まるようにする。</li> <li>○日本と世界の共通点や相違点を通して、多様な考えができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導者が読み聞かせをする際、ジェスチャーや声に表情をつけて、児童が分かちあふ実感できるようにする。</li> <li>○児童の興味・関心が高まるような場面を設定する。また、学習した語彙や表現の話をやり取りの中で進んで使えるような活動を取り入れる。</li> <li>○ICT機器を適切に活用し、様々な言語や文化について興味・関心を高める。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>○登場人物の気持ちの変化や様子について、教材文から想像し、考えることができた。</li> <li>○中心発問は、自分の考えを書き留める時間を十分に取ったことで、進んで発言することができた。</li> <li>○様々な価値項目を学習することで、日常生活の中で、実践できることも出てきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ペアや少人数で意見を交流する活動を行えなかったため、今後は他者の意見を聞き、考えを深めることに取り組むようにする。</li> <li>○主人公の気持ちの変化や思いを考え、自分の経験について、道徳的価値と結び付けることをできるようにする。</li> <li>○学んだことを日常で振り返り、実践力に結び付けられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し合いの仕方を付箋やホワイトボード等を使用し、他者の意見を聞く機会を増やし対話的な学びができるように工夫をする。</li> <li>○発問の工夫や友達の経験や話話からヒントを得て、自分を振り返るきっかけがスムーズに行えるようにする。</li> <li>○より実践力に結びつくよう、終末の話を工夫する。</li> </ul>